

記者発表資料

令和5年1月26日

宮城県美術館 担当：赤間・柴野

bijutu-a@pref.miyagi.lg.jp 022-221-2113 (学芸部直通)

生誕110年

傑作誕生・佐藤忠良

報道各位

日頃から、宮城県美術館の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

当館で2月4日(土)から開催する「生誕110年 傑作誕生・佐藤忠良」についてご案内いたします。ぜひ貴メディアにて取り上げ、報道・周知していただきたくお願い申し上げます。

なお、広報用画像のご使用や招待券プレゼントを希望される場合は、本リリースの末尾に添付しております用紙に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

宮城県美術館

報道公開 2023年2月4日(土) 午前8時30分～
開会式 同日 午前9時～(開場は8時30分)

※ 事前申込みは不要です。2階展示室入口前の受付にお声がけください。

※ 作品を1点撮りして掲載する際は、必ず作品名・制作年・所蔵先を明記してください。

※ 海外作家の作品を1点撮りする場合は著作権料がかかる場合があります。

開催概要

会期 2023年2月4日(土)～3月26日(日) ※会期中、一部作品の展示替えを行います。

前期：2月4日(土)～2月26日(日) 後期：2月28日(火)～3月26日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)

会場 宮城県美術館本館 2階展示室

休館 月曜日

当日券料金 一般1,200(1,000)円、学生1,000(800)円、小・中・高校生600(450)円

()内は20名以上の団体料金 ※本展の前売券の販売はございません。

主催 宮城県美術館、河北新報社

後援 仙台市教育委員会、NHK仙台放送局、tbc東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、

khb東日本放送、エフエム仙台

企画協力 SDアート

展覧会概要

宮城県黒川郡落合村舞野（現・大和町）に生まれた佐藤忠良（1912～2011）は、東京美術学校（現・東京藝術大学）彫刻科を卒業後、若くして新制作派協会（現・新制作協会）彫刻部の設立に参加しました。戦争を生き抜き、シベリア抑留を経験、復員後も一貫して具象彫刻の道を歩み、戦後の日本彫刻史に大きな足跡を残しました。生誕110年を機に開催する本展覧会では、佐藤忠良が手掛けた三つの代表作に焦点をあてます。

展覧会のみどころ

▶ 初期の代表作、《群馬の人》

日本人の手で初めて日本人の顔を表現したと高く評価された《群馬の人》。1952年、第16回新制作展に出品された本作品には、幼少期、戦争中あるいは終戦後のシベリア抑留中、そして戦後の日本で、作者が出会った群馬の人に対するさまざまな思いが凝縮されています。

▶ 飽くなき探求心と《帽子・夏》

身体と衣服によって生まれる形態の均衡を意識し、独自の具象表現に至った《帽子・夏》。桑沢デザイン研究所や東京造形大学で教鞭をとった佐藤は若い学生たちと接し、ジーンズや帽子など、当時の若者たちのさりげない着こなしを造形表現に取り込みました。本作発表当時、還暦を迎えた作者の飽くなき探求心の背景には、イタリア近代彫刻の自由な造形からの刺激がありました。

▶ ライフワークとなった『おおきなかぶ』

動感あふれる描写とリズムカルな場面展開によって読者の心をつかみ、いまや三代にわたって読み継がれているロングセラー絵本『おおきなかぶ』。佐藤忠良は、戦前から彫刻制作と同時に多数の絵本の出版にたずさわっており、絵本の画家として知る人も多くいます。特にロシア民話を題材とした『おおきなかぶ』絵本原画は、シベリア抑留を経験し、現地の風景や人々の生活を目に焼き付けた佐藤にとって、渾身の一作となりました。小学校の国語の教科書に採用されたほか、外国語版も発行されるなど、多くの人に愛される代表作となりました。

▶ ロダン、グレコ、ピカソまで。佐藤忠良が愛した芸術とは

佐藤自身が収集した絵画や彫刻である「佐藤忠良コレクション」をあわせて展示しているのも、本展の見どころの一つです。学生時代に魅了され、自身の表現上の「ご先祖様」と敬愛したフランスの彫刻家オーギュスト・ロダン、仙台では定禅寺通のブロンズ彫刻でお馴染みのエミリオ・グレコといったイタリアの彫刻家。さらには、パブロ・ピカソまで、作者が制作の指針として敬愛し、収集した芸術家たちの作品を紹介します。

章構成

第1章「《群馬の人》—フランス近代彫刻から学んだもの」

第2章「《帽子・夏》—イタリア近代彫刻への共感と空間の探求」

第3章「『おおきなかぶ』—画家・佐藤忠良の足跡」

佐藤忠良のブロンズ、素描、絵本原画、資料など約200点に加えて、ロダンやピカソなど、佐藤忠良が収集した「佐藤忠良コレクション」36点を前期後期に分けて展示。

関連イベント

■講演会「佐藤忠良 等身大の彫刻」

講師：水沢 勉 氏（神奈川県立近代美術館長）

日時：3月25日（土）午後2時～（90分程度、開場：午後1時30分）

会場：講堂

定員：150名 ※ 先着順（聴講無料）午後1時より講堂前にて整理券を配布します。

■学芸員による展示解説

日時：2月25日（土）、3月11日（土）いずれも午後2時～（60分程度。開場は午後1時30分）

会場：講堂

定員：150名 ※ 先着順（聴講無料）午後1時より講堂前にて整理券を配布します。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本展覧会や関連イベントの予定が変更になる場合がございます。その場合は当館のホームページなどを通じて、随時お知らせいたします。

広報用画像一覧

広報用画像のご使用を希望される場合は、本リリースの末尾（5ページ）に添付の用紙に必要事項をご記入の上お申し込みください。



1 佐藤忠良《群馬の人》1952年
宮城県美術館蔵 photo ©佐々木香輔



2 佐藤忠良《常磐の大工》1956年
宮城県美術館蔵 photo ©佐々木香輔



3 佐藤忠良《帽子・夏》1972年
宮城県美術館蔵 photo ©佐々木香輔



4 佐藤忠良《ボタン(大)》1967-69年
宮城県美術館蔵 photo ©佐々木香輔



5 佐藤忠良『おおきなかぶ』絵本原画 26-27頁 [1962年5月刊]
(前期後期で場面を替えて展示)
宮城県美術館蔵 photo ©佐々木香輔

お問い合わせ

宮城県美術館 〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1 (担当：赤間・柴野)

TEL : 022-221-2111 FAX : 022-221-2115

公式 HP : <https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/> 公式 Twitter : https://twitter.com/miyagi_bijutu

広報用画像データ・チケットプレゼント申込書

FAX : 022-221-2115 E-mail : bijutu-a@pref.miyagi.lg.jp

宮城県美術館 佐藤忠良展 広報担当 (赤間・柴野) 行

広報用に作品の画像 (JPEG データ) を用意しております。掲載を希望される画像に チェックを入れ、この申込用紙の必要事項にご記入の上、FAX または PDF でお申込ください。

掲載希望画像	<input type="checkbox"/> 1 《群馬の人》	<input type="checkbox"/> 2 《常磐の大工》	<input type="checkbox"/> 3 《帽子・夏》
	<input type="checkbox"/> 4 《ボタン(大)》	<input type="checkbox"/> 5 『おおきなかぶ』 絵本原画 26-27 頁	
貴社名			
所在地			
TEL		FAX	
e-mail			
媒体・番組名			
発行・放送予定日	月 日 (: ~ :)		
チケットプレゼント	希望する・希望しない		枚 (※5組10枚まで)
ご担当者様			

注意事項

- ※ 作品画像のご使用は、本展をご紹介いただける場合に限りです。本展終了後の掲載はできません。
- ※ 作品画像をご使用の際は、文字や他のイメージを重ねたり、トリミングしたりすることはできません。
- ※ 作品画像をご使用の際は、本プレスリリース 4 ページのとおりクレジットを必ずご記載ください。